

## お知らせ

### 平成 27 年度 東北支部定期大会・講演会

日 時 : 平成 27 年 5 月 9 日(土)  
会 場 : 東北大学医学部 臨床小会議室(仙台市)  
内 容 : 『線量と画質(DRL,IE を含めて)』

### 第 53 回東北支部学術大会 (第 5 回東北放射線医療技術学術大会)

大会長 山田金市(山形大学医学部附属病院)

実行委員長 岡田明男(山形大学医学部附属病院)

厳冬の候、会員の皆様には益々ご清祥のことと存じます。第53回東北支部学術大会(第5回東北放射線医療技術学術大会)を山形市にて開催を計画しております。ご多忙とは存じますが、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。尚、詳細は改めてご案内申し上げます。

日 時 : 平成 27 年 10 月 31 日(土) ~ 11 月 1 日(日)  
会 場 : 〒990-0828 山形県山形市双葉町1丁目2-3  
「山形テルサ」  
Tel. 023-646-6677

### 平成 27 年度 東北支部技術研修会

#### DR セミナー

青森県開催 教育委員会、画像部会、東北支部共催

日 時 : 平成 27 年 8 月 29 日(土) ~ 30 日(日)  
会 場 : 弘前大学医学部附属病院 5F 大会議室(弘前市)  
定 員 : 30 名

#### PACS ベーシックセミナー

宮城県開催 教育委員会、医療情報部会、東北支部共催

日 時 : 平成 27 年 7 月 4 日(土)  
会 場 : 東北大学臨床講堂(仙台市)  
定 員 : 40 名

#### 防護セミナー

岩手県開催 教育委員会、放射線防護部会、東北支部共催

日 時 : 平成 27 年 6 月 28 日(日)  
会 場 : いわて県民情報交流センターアイーナ(盛岡市)  
定 員 : 50 名

#### 乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会

宮城県開催 教育委員会、放射線撮影分科会、東北支部共催

日 時 : 平成 27 年 11 月 28 日(土) ~ 29 日(日)  
会 場 : 東北大学病院(仙台市)  
定 員 : 50 名

## リスクコミュニケーションセミナー

日 時 : 平成 27 年 12 月 5 日(土)  
会 場 : 福島市(コラッセ福島多目的ホール)  
内 容 : リスクコミュニケーションに必要な基礎知識を学ぶとともに、震災から現在までの活動成果報告  
対 象 : 診療放射線技師

## 第 4 回東北支部セミナー

日 時 : 平成 27 年 11 月 7 日(土)～ 11 月 8 日(日)  
会 場 : ヒルズサンピア山形(山形市)  
内 容 : デジタル画像の入口から出口まで(講義と実習)  
定 員 : 20 名(東北支部 HP に掲載を予定しております。)

## 第 5 回東北支部セミナー(ミニ)

日 時 : 平成 28 年 1 月頃  
会 場 : 東北大学病院(仙台市)  
内 容 : デジタル画像の入口から出口まで(講義)  
定 員 : 30 名(東北支部 HP に掲載を予定しております。)

## 東北支部後援企画

### 第 17 回 東北デジタル医用画像研究会講演会

日 時 : 平成 27 年 6 月 13 日(土)  
開 催 地 : 新潟市(朱鷺メッセ)

### 第53回 東北循環器撮影研究会

日 時 : 平成 27 年 6 月 27 日(土)  
開 催 地 : 福島市

### 第13回 東北MR技術研究会

日 時 : 平成 27 年 7 月 11 日(土)  
開 催 地 : 弘前市

### 第7回 東北CT技術研究会

日 時 : 平成 27 年 9 月 12 日(土)  
開 催 地 : 秋田市

### 磁気共鳴医学会安全性講演会

日 時 : 未定  
会 場 : 未定(仙台市)

## 編集委員会からのお知らせ

日本放射線技術学会東北支部では会員皆様からの研究論文の投稿をお待ちしております。学術大会での発表にとどまることなく、研究の成果を論文として形に残し、多くの会員諸氏とその成果を共有することは支部における学術活動の大きな目的のひとつと考えます。発表後に提出していただき「発表のまとめ(後抄録)」を一步進めて論文の体裁に整えた上で投稿されることを期待いたします。また、日頃の診療業務の中から得られた貴重な知見等を「ノート」として公開していただければ、広く放射線技術学の向上につながるものと考えます。「東北支部雑誌投稿に関する規定」は支部雑誌巻末の「東北支部運用細則等」のなかにあります。論文の書き方に関しては(公社)日本放射線技術学会HP「論文投稿案内」([http://www.jsrt.or.jp/web\\_data/ronbun.html](http://www.jsrt.or.jp/web_data/ronbun.html))や放射線医療技術学叢書(12)「放射線技術学研究の進め方と実践」が参考になります。ご参照下さい。

尚、当支部雑誌はいわゆる「著作権」を主張するものではありません。よって、内容により原著性を重んじる場合を除いて、「二重投稿」を厳しく制限するものではないことを申し添えます。さらに、東北支部では研究助成金を支給することにより、会員皆様の『放射線技術に関する学術研究』を支援しております。「東北支部研究助成金内規」をご覧のうえ、ご応募くださいますようお願い申し上げます。